

日頃の備え	発災時	帰宅まで
<p>【施設管理者との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 施設管理者に全館アナウンスの有無等、非常時の対応マニュアルを確認する。 ※ 施設管理者と共に避難訓練をする。 <p>【教室での備え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 学習者もボランティアも電話連絡先を2か所登録しておく。 ※ クラス全員で建物内の避難経路を確認し、避難の練習をする。 ※ クラス全員で建物外の広くて安全な場所を確認。(最も近い公園や学校を第二避難先として想定) 😊 子どもクラスは、発災時の引き渡し場所を予め保護者にも周知しておく。 <p>【通常の学習日の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 教材は、床に置く。 ※ キャスターのストッパーをかける。 ※ 名簿に出欠者を確実に記録する。 ※ 学習中に部屋から出る時や戻った時は誰かに伝える。 	<p>【教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ コーディネーターが大声で第一声。「地震です！テーブルの下に入ってください。頭を守ってください。テーブルの足を持ってください。落ち着いてください。」 ※ 全員が頭部を守る。机の下にもぐる。外に飛び出そうとする人を止める。 ※ コーディネーターが施設管理者の指示を確認。 ※ 不安が強い人への配慮。 ※ 揺れが収まったら、点呼。 <p>【施設外に出る時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ コーディネーターは名簿を持ち出す。 ※ 「全員での行動」を原則とする。 ※ 移動時はかばんや本で頭を守りながら。 <p>※表裏ににほんご きょうしつと大きく書かれた掲示物があるとよい。移動時や屋外での集合時に高く掲げる。(クラス備品として準備しておく。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ おとなクラスは、帰宅する人を必ず名簿に記録する。 😊 子どもクラスは、全家庭に連絡(通話、ライン、メール)。子どもだけでは帰宅させない。迎えに来た保護者に引き渡し、必ず名簿に記録する。 <p>※市役所生活文化課への報告。 生活文化課に尋ねたところ、報告は可能であれば でよい、メール等で構わない、とのこと。</p>